

株式会社坪内電気

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



発行日： 2024年6月18日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業活動(電気工事)の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6 ～ 8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

株式会社坪内電気は環境に優良な工作物を創出することによる生物多様性の保全等のための積極的な環境活動を行うとともに、自らの事業活動における環境負荷の低減に努めるため、エコアクション21に取り組んでいます。より良い設備とは自然環境に与える影響をできる限り抑えるとともに、人々の健康を害することがあってはならないものです。私たちの手掛ける電気設備・機械設備は自然環境に配慮したものであることはもちろんのこと、人々に直接的に関わるインフラ事業です。その事業を通じてより安全で環境にやさしい循環型社会を実現するために、この取り組みを継続してまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は環境技術の向上を目指し5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を実施し、業務の効率化、環境に配慮した工法の提案に努める。
全従業員に環境教育を実施して周知・徹底を図り環境保護に対しての意識改革を行い、これらを推進するため、エコアクション21の継続的な改善を図り、社会に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制、再資源化に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した工事に努めます。
6. 本指針は従業員に周知するとともに公表します。



制定日：2021年10月1日

代表取締役社長 坪内 博樹

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社坪内電気

代表取締役社長 坪内 博樹

(2) 所在地

本 社

兵庫県朝来市桑市22番1号

倉 庫

兵庫県朝来市桑市

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者

代表取締役

坪内 博樹

TEL : 079-678-0304

担当者

総務部

衣川 理恵

FAX : 079-678-1254

(4) 事業内容

電気工事業

(5) 事業の規模

売上高

7,200 万円

		本 社	倉 庫	合 計
従業員	名	5 名	0 名	5 名
延べ床面積	m ²	542 m ²	151.33 m ²	693.33 m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 :

株式会社坪内電気

対象事業所 :

本 社

倉 庫

対象外 :

なし

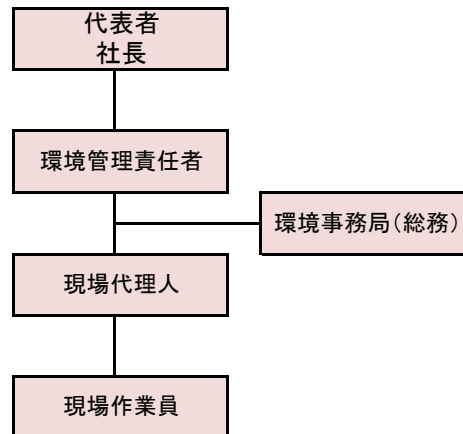
活動 :

電気工事業

□事業活動(電気工事)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・権限
代表者 社長	環境経営に関する統括責任 環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
現場代理人	現場における環境経営システムの実施 現場における環境経営方針の周知 現場の従業員に対する教育訓練の実施 現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 現場の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度	2020年度	2021年度 (10月～12月)	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		16,065	716	13,389
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg		216	54	204
産業廃棄物排出量	kg		1,980	150	1,130
水使用量	m ³		12	3	11

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 関西電力の2020年度の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※対象化学物質の使用はありません。

□環境経営目標及びその実績

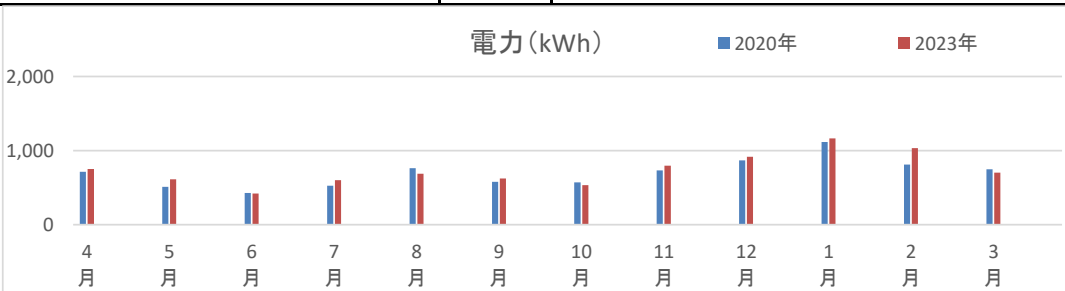
項 目	年 度	単位	2020年	2023年		評価	2024年	2025年
			(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		2,661	2,608	2,811	×	2,555	2,528
	基準年度比			98%	103%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		11,355	11,128	10,567	○	11,014	10,900
	基準年度比			98%	93%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	年度kg-CO ₂		14,016	13,736	13,378	○	13,569	13,429
一般廃棄物の削減	kg		216	201	84	○	201	194
	基準年度比			93%	39%		93%	90%
産業廃棄物の削減	kg		600	540	560	×	480	420
	基準年度比			90%	93%		80%	70%
水道水の削減	m ³		12	11	11	○	11	11
	基準年度比			95%	100%		92%	90%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

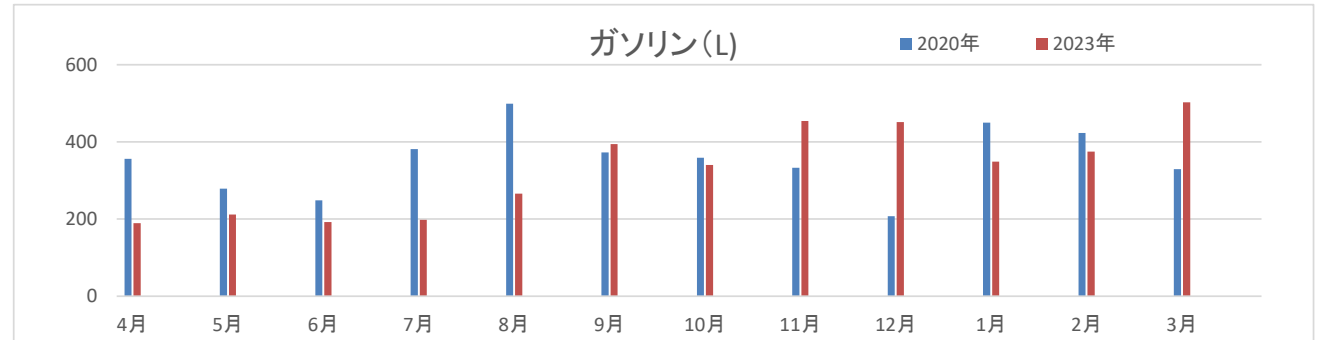
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、事業所に来社されるお客様が増えました。結果として目標を達成することができませんでした。空断熱効果の高い窓に変えるもしくは空調機器の省エネ型機器への更新を検討します。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	○	

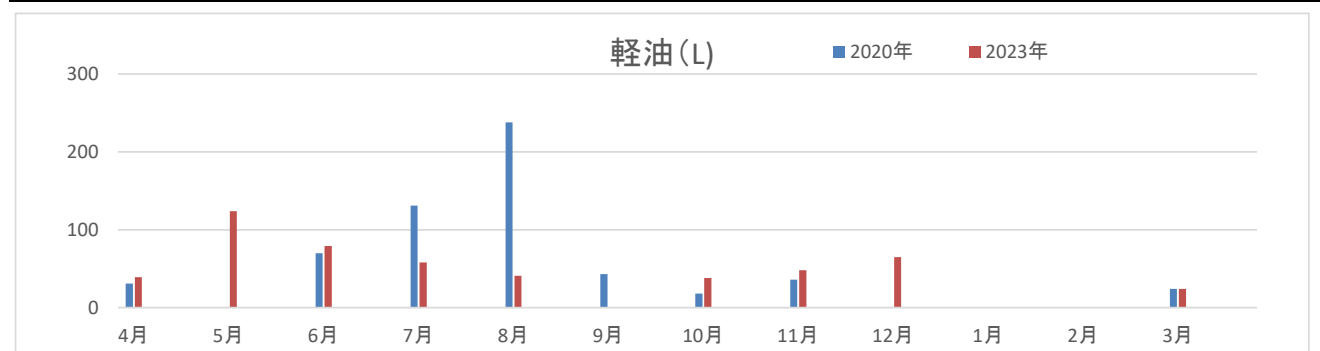


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	715	510	429	525	761	580	571	732	869	1,117	812	748
2023年	753	611	419	600	687	622	535	796	916	1,166	1,034	701

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	資材の搬入を可能な限り現地納入にしました。また、遠方の現場での重機使用作業はレンタルにて対応しました。結果、燃料の削減を達成できました。来期以降は更新となる車両を電気自動車もしくはハイブリッド車を検討し、さらなる削減を目指します。
・アイドリングストップ	○	
・相乗りする等工夫して同一現場への運行車両の削減	○	

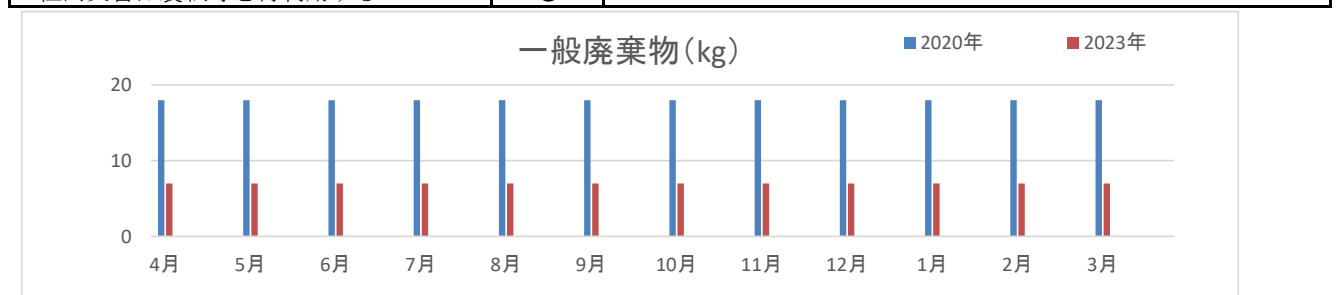


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	356	279	248	381	499	372	359	333	207	450	423	330
2023年	189	212	192	198	266	394	340	454	451	349	375	502



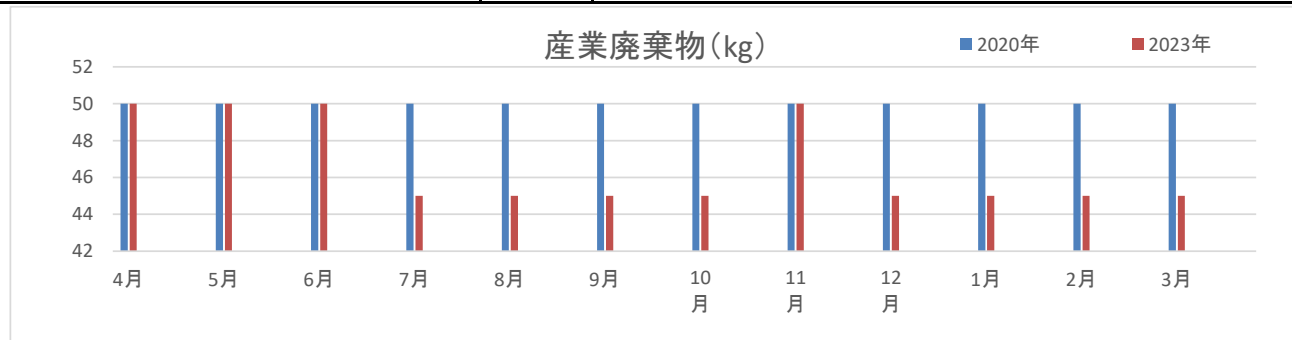
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	31	0	70	131	238	43	18	36	0	0	0	24
2023年	39	124	79	58	41	0	38	48	65	0	0	24

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	書類のやり取りの電子化が進んだこともあり、目標を達成できたと思います。引き続き排出量を把握し削減に努めます。
・分別の徹底	○	
・ペーパーレス化による印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	△	
・社内文書は裏紙等を再利用する	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2023年	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

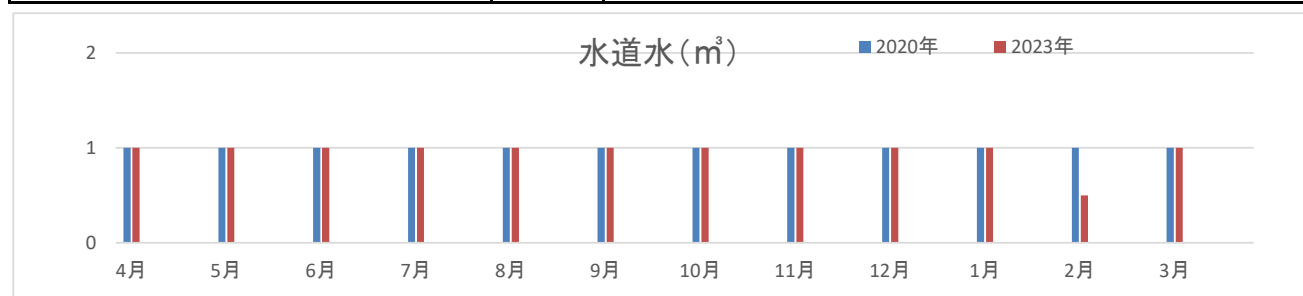
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	取組みがしっかりできており、概ね目標を達成できたと思います。引き続き排出量を把握し削減に努めます。
・リサイクル業者の選定	○	
・過積載の防止	○	
・廃棄物の再資源化の推進	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2023年	50	50	50	45	45	45	45	45	45	45	45	45

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別の徹底がなされている。今後も排出量の把握に努め削減を目指します。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組みがしっかりできており、概ね目標を達成できたと思います。引き続き節水に努めます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2023年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	IT化による効率アップを図る為、一部クラウドを利用した工事管理ソフトを導入しました。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される規制内容	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正保管・適正処理	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
下水道法	排水基準の遵守、除害施設の管理	遵守
消防法（危険物）	危険物の適正管理	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録の保存 業務用エアコン、冷蔵・冷凍庫等の有無の事前確認、発注者への書面説明、 書面の3年間保存	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用 再商品化に必要な料金の支払い	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 10月20日（金）	■実施場所 本社
■参加者： 5人	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 新入社員も参加したが、スムーズに訓練が実施できた。手順書の有効性が確認できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月11日

本年度は自動車燃料、一般廃棄物において目標達成となっている月が多くありました。取り組みの浸透がなされており成果が出ています。一方で電力による削減の取り組みが、目標値を達成できませんでした。外から影響を遮る対策も取り組みに加える等の工夫も来期以降、必要だと感じております。
外での作業が多い我々の事業活動は温暖化の影響を身をもって痛感しております。ゆえにエコアクション21の活動を通じてカーボンニュートラルやSDGsへの取り組みの課題を解決すべく取り組んでまいります。

代表取締役 坪内 博樹

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり